
大学教育学会ニュースレター

No.107 2018.02.05

一般社団法人大学教育学会 (Japan Association for College and University Education)

事務局：〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原 2-8-20-204

TEL・FAX：(042) 707-8112

郵便振替口座：00210-9-102857 一般社団法人大学教育学会

E-mail: jacue.office@gmail.com URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会 第40回大会(2018年)案内

統一テーマ

AI 時代を生きるための教養教育

趣 旨

一般社団法人大学教育学会は38年前に「一般教育学会」として発足して以来、大学における教養教育を中心に様々な研究活動を実践し、その成果を社会に発信してきた。大学を取り巻く状況は、この間に大きく変容し、教養教育のカリキュラムは、設置基準の大綱化に伴う人文・社会・自然科学・外国語・体育といった枠組みが廃止され、弾力的な科目の設置が可能になるとともに、そのチェックを果たす評価システムが導入されてきた。

また近年、各大学は、教育目標に関する3つのポリシーを掲げ、教育研究の質保証として社会にその存在意義を説明している。いま、大学では、授業改善、カリキュラム改革、大学組織改革、大学教員意識改革など様々な施策がなされているが、それらは、大学に学びを求めて門をくぐる学生の期待に十分応えられているのだろうか。

21世紀の現在、卒業後の学生たちが直面する社会環境の変化の要因として、AIの進歩が挙げられる。AIが社会に浸透していく速さには目を見張るものがあり、我々は本格的なAIとの共存時代に入ろうとしている。

このAIを前提とした生活に直面して学生たちがどのように生活したらよいか、AIとどのように付き合い合ったらよいか、そうした問題に教養教育はどう答えるのか。こうした問題に今、目を背けず向き合うことこそが大学教育をさらに実質化させるための手掛かりになるのではないかと課題としては、社会におけるAIと人間との関わりやビッグデータの活用が生活に与える影響、AI時代に身体知はどのような役割を果たすか?などといった視点を考えている。

今回、第40回大会というその活動の節目を、教育・研究の先端を行く大学の一つである筑波大学で迎えることになった。今大会では、近未来を見据えた、新たなカリキュラムの導入や様々な施策が実践されつつある筑波大学の事例を提示いただく。それを手掛かりにAI時代を生きるための教養教育についてともに考え、議論する場としたい。

1. 開催期日および会場

期 日 2018(平成30)年6月9日[土]、6月10日[日]

会 場 筑波大学5C棟(体芸棟)および大学会館(茨城県つくば市天王台1-1-1)

つくばエクスプレスTXつくば駅下車・バス7分、または東京駅八重洲南口より高速バス75分

5C棟(体芸棟)：参加受付、オリエンテーション、ラウンドテーブル、自由研究発表、ミニシンポジウム

大学会館(5C棟[体芸棟]より北へ150m)：事業報告会、基調講演、シンポジウム

ホテルグランド東雲：懇親会(TXつくば駅徒歩8分)

2. 大会日程

第 1 日：6月9日 [土] 午前は5C棟（体芸棟），午後は大学会館

8:45	10:00	12:00	13:00	13:40	14:00	16:20	16:30	17:50	18:30	20:00
受付	ラウンド テーブル	昼食	事業 報告会		シンポジウム	基調講演		※1 情報交換会		

↑ 9:15-9:50 初めて参加する人のためのオリエンテーション

↑ 13:50-14:00 開催校挨拶

- 8:45 受付開始（5C棟【体芸棟】2F中央ホールより東側入ル）
- 9:15 - 9:50 初めて参加する人のためのオリエンテーション
- 10:00 - 12:00 ラウンドテーブル
- 12:00 - 13:00 昼食
- 13:00 - 13:40 事業報告会（以降、シンポジウムまで大学会館講堂）
- 13:40 - 13:50 （休憩）
- 13:50 - 14:00 開催校挨拶 高木英樹（大会実行委員会事務局長、筑波大学）
- 14:00 - 16:20 シンポジウム「AI時代を生きるための教養教育に必要なこと」
鈴木健嗣（筑波大学）、清水諭（筑波大学）、小笠原正明（北海道大学）
- 16:20 - 16:30 （休憩）
- 16:30 - 17:50 基調講演 永田恭介（筑波大学学長）
「柔軟な教育研究組織とわが国の高等教育の未来（仮題）」
- 17:50 - 18:20 （移動）
- 18:30 - 20:00 ※1 情報交換会（ホテルグランド東雲2階、つくば駅徒歩8分）

※1 情報交換会終了後に、有志による若手研究者交流会（つくば駅近辺）を予定しております。
場所等詳細については、次号のニュースレター（No.108）にてお知らせいたします。

第 2 日：6月10日 [日] 5C棟（体芸棟）

9:00	9:30	12:00	13:00	15:00	15:30	17:00
受付	自由研究発表 I ミニシンポジウム	昼食	自由研究発表 II		※2 ポストワーク ショップ	

- 9:00 受付開始
- 9:30 - 12:00 自由研究発表 I
ミニシンポジウム「AI時代における大学体育スポーツの貢献」
松元 剛、金谷麻理子（筑波大学）、七五三木 聡（大阪大学）
- 12:00 - 13:00 昼食
- 13:00 - 15:00 自由研究発表 II
- 15:00 - 15:30 休憩
- 15:30 - 17:00 ※2 ポストワークショップ

※2 本学会活動の大学教育改革への貢献の可視化と会員の能力開発を促すため、ポストワークショップ（定員制、有料）を実施いたします。今大会では「効果的なシラバスの書き方（仮）：中島英博会員（名古屋大学）・榊原暢久会員（芝浦工業大学）」と、「剽窃を防ぎ、学生を思考にいざなうレポート課題の出し方（仮）：成瀬尚志会員（長崎大学）」の2種類を予定しております（同時刻開催）。申し込み方法等の詳細は次号のニュースレター（No.108）にてお知らせいたします。

関連行事：6月8日 [金]

14:00-18:00 理事会、定時代議員総会 5C棟（体芸棟）

3. シンポジウム「AI時代を生きるための教養教育に必要なこと」

1991年の大綱化以来大学教育は大きく変貌してきた。大学の授業改善、カリキュラム改革、大学組織改革、大学教員意識改革など、多くの施策がなされてきた。だが、それは学生たちの未来の生活と課題に正面から対応した学びに十分につながられているだろうか。学生たちの置かれた生活の実情と知識の必要に即してさらに大学教育は進化する必要があるのではないか。卒業後の学生たちの社会環境で言えば、21世紀の現在、AIの進歩と社会への浸透には目を見張るものがある。我々は本格的なAIとの共存時代に入ろうとしている。このAIを前提とした生活に直面して学生たちがどのように生きてらよいか、AIとどのようにつき合っていってよいか、このことこそが大学教育あるいは教養教育をさらに実質化させるための手掛かりになるのではないかと考える。

そこで、本シンポジウムでは、学生とAIとの関係を軸とした次の4つの視点から、大学教育、特に教養教育の見直しを試み、将来への展望について討議してみたい。

①現状においてAI開発が目指している方向性と、開発者が想定しているAIと人間との共存のイメージ。②AIが人間をはるかに超えて処理できるデータ、特にビッグデータの活用が生活に与える影響。③人間の身体知がAIとの共存において果たすことが期待される役割。④AI時代に際立つ教養教育の重要性。

- ・シンポジスト 鈴木 健嗣 氏（筑波大学 人工知能科学センター教授） ①②の視点から
- 清水 諭 氏（筑波大学 副学長教育担当） ③の視点から
- 小笠原正明 氏（北海道大学 名誉教授） ④の視点から
- ・司会者 佐々木一也 氏（立教大学 教授）

4. 基調講演

講師：永田恭介 氏（筑波大学 学長）

演題：柔軟な教育研究組織とわが国の高等教育の未来（仮題）

司会：清水 諭 氏（筑波大学副学長、本大会実行委員長）

筑波大学は、1973年に東京教育大学を母体として発足した総合大学である。あらゆる面で「開かれた大学」となることを目指し、固定観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現することを基本理念としている。その不断の改革を推進してこられた永田学長ご本人から、筑波大学の教育改革とわが国の高等教育の未来について、本大会の統一テーマ「AI時代に生きるための教養教育」と絡めながらお話しいただく予定である。

5. 「ラウンドテーブル」申し込みについて

本学会は、多様な専門分野の方々が集まって大学教育に焦点をあててその充実を図ることを大きな目標の一つに掲げています。その一環として行う「ラウンドテーブル」は、会員による研究・実践活動の活性化を促すとともに、学会全体で共有できる研究課題を発掘し、複数の視点から議論を深めていくことを目的としています。

発表資格

- (1) 企画者、報告者（話題提供者・発題者）、司会者となる資格を有するのは本学会個人会員に限ります。ただし、企画者は複数の所属機関にわたる複数名で構成してください。企画者が報告者や司会者を兼ねることは可能です。
- (2) 同じ会員が複数の企画に、企画者、報告者、司会者として参加することはできません。
- (3) 1テーブルの構成員（企画者・報告者・司会者）の数は最大10名までとなります。
- (4) 課題研究委員会が企画するラウンドテーブルについては、本学会個人会員でなくても報告者（話題提供者・発題者）になることができます。

申し込みおよび報告

申し込みの要領・手順については、ニュースレター後掲「自由研究およびラウンドテーブルの発表申し込みについて」をご参照下さい。

ラウンドテーブルの企画者は、大会終了後、編集委員会が指定する学会誌の『ラウンドテーブル報告』に投稿することができます（『大学教育学会誌編集規程』『大学教育学会誌執筆要領』をご確認ください。）

ラウンドテーブルの調整及び評価

ラウンドテーブル全体の調整及び評価は企画・実行委員会が行います。

第一に、企画・実行委員会において、企画者、発表者、司会者として会員資格を満たしているかを確認いたします。第二に、企画・実行委員会が、以下の項目を中心にテーマの適切性や重複状況を総合的に評価いたします。また、会場の都合を踏まえ、ラウンドテーブルの数を制限することがあります。

- ・ 1テーブルの構成員（企画者・報告者・司会者）の人数（最大10名まで）
- ・ 発表者の所属機関の多様性
- ・ 見込まれる参加者数
- ・ 成果の発表状況（論文、シンポジウムでの報告、出版等）

以上の評価結果は、申し込み年度の3月中旬を目途に企画者に通知いたします。

6. 「自由研究発表」について

発表資格

- (1) 発表申し込み及び登壇する資格を有するのは本学会個人会員（学生会員を含む）および団体会員である団体に所属する個人に限ります。ただし、共同研究者として非会員をプログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に記載することができます。
- (2) 個人会員（学生会員含む）は、1名1題に限り登壇者となることができます。ただし共同研究者として他の発表に名を連ねることはこの限りではありません。
- (3) 団体会員は、当該団体に所属する任意の個人1名1題に限り、登壇者となることができます。
- (4) 非会員を共同研究者とした際は、プログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に、必ず「非会員」であることを明記してください。
- (5) 「個人会員（学生会員を含む）」とは、①指定期日以前に、締切日を含む年度までの会費を全納した者、あるいは、②発表申し込み締切日までに、入会手続きを取り、当該締切日を含む年度の会費を前納した者を指します（後述の「申し込みに関する留意事項」を参照）。
- (6) 企画委員会は発表資格を満たしているか判断し、3月末までに発表申込者に通知します。

発表内容

- (1) 大学教育に関する未発表の研究で、単なる実践報告ではなく、一定程度の成果の評価や結論が示されていることが求められます。
- (2) 大学教育学会誌における関連先行研究のレビューをふまえたものであることが求められます。
- (3) 共同研究の成果発表において、2つ以上の発表時間枠の利用を希望する場合は、発表題目の副題に内容を必ず明示すること。主題および副題に連番を付すことは認めません。
- (4) 発表題目は、研究の内容と目的を明示するものであり、申し込み・要旨集録・当日発表のいずれも同じでなければなりません。

発表時間・会場

- (1) 発表15分と質疑応答5分の計20分です。
- (2) 共同研究の成果発表であっても発表時間は(1)と同一とし、延長等の措置は取りません。ただし、「発表内容(3)」のとおり、適切な形で内容を分割し、別の発表とすることは妨げません。
- (3) 申し込みの発表題目と発表内容の概要を参考に、企画委員会が会場分けを行い、実行委委員会の責任で発表者に通知します。

(4) 会場ごとに全発表の終了後に「総合討論」の時間を設けます。発表者は必ずご参加下さい。

申し込みに関する留意事項

- (1) 団体会員の資格で発表する場合は、団体名での発表になります。電子申請の際の発表申し込みの画面で必ず機関名をご記入下さい。
- (2) 発表申し込み後に正当な理由なく途中辞退を行った場合、今後発表を認めないことがあります。

7. 大会企画・実行委員会

企画委員長	奈良 雅之 (目白大学)	本大会実行委員長	清水 諭 (以下、筑波大学)
企画委員	小笠原 正明 (北海道大学)	事務局長	高木 英樹
	佐々木 一也 (立教大学)	事務局次長	木内 敦詞
	木内 敦詞 (筑波大学)	実行委員	坂本 昭裕
	石渡 尊子 (桜美林大学)		島田 康行
	出光 直樹 (横浜市立大学)		白木 仁
			鍋倉 賢治
			山田 幸雄
			加藤 毅
			金谷 麻理子
			長谷川 悦示
			松元 剛
			稲永 由紀
			奈良 隆章
			山田 亜紀

自由研究およびラウンドテーブルの発表申し込みについて

発表申し込み要領

申し込み締め切り：2018年2月28日（水）23:59

学会ウェブサイトの「会員ページ」からお申し込みください（下記の申し込み手順を参照）。

発表申し込み手順

大学教育学会ウェブサイト (<http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>) にアクセスし、指示に従ってください。会員ページ入口でIDとパスワードの入力が求められます。ID、パスワードをお忘れになった方は、学会業務取扱センターまたは学会事務局 (jacue.office@gmail.com) にお問い合わせ下さい。

申し込み時には、発表の種別として「自由研究」か「ラウンドテーブル」を選択していただきます。「自由研究」「ラウンドテーブル」ともに、以下の情報を入力していただきます。

- ① 発表題目（申し込んだ発表題目を変更することはできません）
- ② 発表内容の概要（日本語で300字程度、または英字（半角）120語程度）
- ③ 発表内容のカテゴリー（選択式、「自由研究」の場合のみ）

「自由研究」「ラウンドテーブル」ともに発表の可否が決定されると、「可否通知メール」が申込者宛に送信されます。発表を許可された場合は、会員ページの「お知らせ」欄に表示される要旨集録原稿の提出案内に従い、要旨集録原稿を2018年4月1日（日）23:59までにアップロードして下さい。ラウンドテーブルの企画者は、発表者の氏名、氏名フリガナ、所属についても要旨集録原稿に掲載して下さい

【重要】発表申し込みに関する留意事項

- (1) 発表申し込みの際には、学会ウェブサイト上にある「大学教育学会大会実施要綱」を必ず確認してください。
- (2) 現会員が発表申し込みをする場合は、2017年度分までの会費を **2018年2月21日(水)**までに完納する必要があります。
- (3) 新たに本学会に入会し、第40回大会にて自由研究発表及びラウンドテーブルでの企画・発表を希望する方は、必ず **2018年2月13日(火) 正午**までに入会申込を済ませ、理事会承認後、2017年度分会費を **2018年2月21日(水)**までに納入してください。会費納入が確認された後に会員番号 (ID) とパスワードを発行します。
- (4) 指定期日までに会費を納入されない場合には、申し込みを受理いたしません。
- (5) 会費納入は、郵便払込票にて「00210-9-102857 一般社団法人大学教育学会」までお願いします。
- (6) 会費納入状況の問い合わせ先 (会員 ID 及び PW の問い合わせも可)

大学教育学会 学会業務取扱センター

TEL : 03-5981-9824 / FAX : 03-5981-9852

E-mail : g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

【重要】会員番号記載について

発表・企画資格の会費納入状況に基づく確認のため、申し込み時に会員番号の記載を義務付けております。ご協力をお願いいたします。なお会員番号が不明な場合は、大学教育学会学会業務取扱センター【Tel:(03)5981-9824/E-mail : g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp】、または学会事務局 (開室時間：月・水・金曜日 9:00~17:00)【Tel:(042)707-8112/E-mail:jacue.office@gmail.com】までお問い合わせ下さい。

【重要】参加申し込み等について

第40回大会の参加ならびに情報交換会の申し込み、宿泊予約の詳細につきましては、次号のニューズレター (No.108) にてお知らせいたします。

発表申し込みに関してのお問合せ先は、下記のとおりです。

第40回大会 (筑波大学) に関するお問い合わせ

〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学体育センター内

大学教育学会 第40回大会実行委員会

E-mail: jacue40@gmail.com

※メールの件名には、「自由研究」「ラウンドテーブル」または「大会発表に関する問い合わせ」と、第40回大会関連の問い合わせであることが分かるようにご記入ください。

＝事務局から＝

● 第40回(2018年度)大会について

第40回大会は、2018年6月9日(土)・10日(日)に筑波大学(〒305-8574茨城県つくば市天王台1-1-1)にて開催予定です。本ニューズレター(NL107号)にてラウンドテーブルや自由研究発表の申し込みについてご案内しています。詳細をよくお読みになり、本学会ウェブサイトよりお申し込みをお願いします。

尚、次号のニューズレター(NL108号、4月中旬発行予定)にて参加申し込み及び参加費・情報交換会費の払込について詳細をご案内します。その際郵便払込取扱票も同封予定です。

また、ポストワークショップ及び若手研究者交流会についても次号のニューズレターで詳細をご案内の予定です。

<発表申し込みの際の注意事項>

1. 申し込み締切 2018年2月28日(水) 23:59

締め切り時間間際のお申し込みはアクセス集中により、正常にお申し込みが完了しないことがあります。お時間に余裕を持ってお申し込みくださいますようお願いいたします。また、締切を過ぎた場合のお申し込みは一切受理いたしませんのでご承知おきください。

2. 発表申し込みは、2017年度分までの会費が完納されていることが条件となります。

2月21日(水)迄【締切厳守】に会費納入の上、お申し込みください。会費が完納されていない場合は申し込みを受理いたしませんのでご承知おきください。

3. 現在非会員の方で発表をご希望の方は、必ず2月13日(火)正午迄【締切厳守】に入会申し込みを済ませ、理事会での承認を得た後に、2017年度(会期：2017年4月1日～2018年3月31日)会費を、2月21日(水)迄【締切厳守】にお納めいただく必要があります。

● 会費納入のお願い

今年度(2017年度)迄の会費が未納の会員は、速やかにご入金をお願いいたします。第40回大会でのラウンドテーブル参加、自由研究発表の申し込み予定の方は特にご注意ください。(発表申し込みの際の注意事項をご参照ください。)

領収書につきましては、郵便払込票の受領書をもって替えさせていただきます。

年会費等郵便振替口座 00210-9-102857 「一般社団法人大学教育学会」

ご入金には郵便払込票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

<「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先>

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送る措置をとらせていただいております。納入状況は、学会ウェブサイトの会員ページにあります「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。会員ページへのアクセスには、ID(会員番号)/PWが必要になります。不明の場合、上記大学教育学会学会業務取扱センターまたは学会事務局までお問い合わせください。

● 2018年度課題研究集会について

2018年度課題研究集会は、2018年12月1日(土)・2日(日)に長崎国際大学(〒859-3298長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7)にて開催されます。

● 学会関連資料のご寄贈のお願い

特に探究している資料は、以下の通りです。下記学会事務局まで「着払い」でお送りください。

大会発表要旨集録等(1979,1981, 2000, 2002,2004 年)

課題研究集会要旨集(1981,1982,1985,1986,1987,1988,1989,1992,1993,1998,2001,2003, 2004,2005, 2008 年)

その他、一般教育学会時代の資料についてもご寄贈をお待ちしています。

● 住所変更等会員情報更新のお願い

ご住所、ご所属や役職等に変更がある方は、速やかに、学会ウェブサイトの「会員ページ」にあります「会員情報の照会・更新」からご自身でご変更をお願いいたします。会員ページへのアクセスには、ID(会員番号)・PWが必要になります。不明の場合、下記 大学教育学会 学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

定期刊行物は、宅配業者のメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。何卒ご協力をお願いいたします。

● オンライン検索サービスについて

従来の会員名簿に代わり、会員検索が可能なサービスです。個人会員、団体会員が利用可能です。検索対象は個人会員のみです。

情報検索項目(基本情報)は、【氏名】、【カナ】、【所属先】、【専門領域】の4項目で検索(部分検索)可能です。その他の項目の開示・非開示については、会員本人の選択項目になります。

こちらのサービスを利用される際には、ID(会員番号)・PWの入力が必要になります。

● メールマガジンの受信設定のお願い

現在、会員の皆様に年2～3回、大学教育学会メール通信(メールマガジン)を配信しております。

しかし、受信拒否や宛先不明を理由に返送されてくるメールが多数あります。ご登録のアドレスにおいて学会アドレス jacue.office@gmail.comより送信されましたメールを受信できるよう設定をお願い致します。



【学会事務局】

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原2-8-20-204

Tel/ Fax: 042-707-8112

E-mail: jacue.office@gmail.com

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F

TEL: 03-5981-9824 FAX: 03-5981-9852

E-mail: g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp